



すすんで学ぶ子
心豊かな子
たくましい子

中宮

令和6年8月26日
第669号(2学期)
枚方市立中宮小学校
校長 西嶋 日美

今年の夏休みは、暑くて暑くてまさに「猛暑」でした。日々のニュースでも「クーラーの入った快適な部屋で過ごしてください」と推奨され、命を守ることが大切でした。

そんな中、8月26日、今日の朝「学校に行こう!」と準備し、登校できた中宮っ子は本当に素晴らしい。さあ、2学期は1年間の中の充実期です。今日の第一歩を大切に、2学期を楽しく過ごしていきましょう。

夏休み前に三つのお約束のお話をしました。

なかみやしょうがっこう

中宮小学校のみんなへ

こうちょうせんせい

校長先生からの夏休みの3つの約束

いのち いちばんたいせつ
① 命が一番大切です。

はやね はやおき あさ
② 早寝、早起き、朝ごはん。

なつやすみ
③ 夏休みにしかできないことがあります。



まずは、夏休みを振り返って下さい。1学期の最後にみんなに3つの約束をしました。

①「命を大切に」については、達成できましたね。とてもうれしいです。夏休み中に事故などにあつた人も学校にも教えてください。(心配です…)

では、②「早寝、早起き、朝ごはん」はどうでしょうか。夏休み期間に朝の自主練をしている6年生に出会つたことがあります。毎日とは言わなくても、達成できていたらいいですね。

そして、③「夏休みにしかできないことがある」について、ぜひ自分の体験を各教室で担任の先生とお話をしてほしいと思います。(後から必ず聞いておきます。)

私が小学生だったころは、ゲームもスマホもない時代でした。夏休みの宿題も早々に終え、何もすることがなく毎朝ラジオ体操に出かけていました。今でも忘れられないのは、3年生の夏休み、セミの生態に心惹かれ、私はセミ採りに取りつかれていました。長い間土の中で成長し、地上に出てきてからは短い間しか生きられないセミの生態が本当に美しく、興味深かつたのでしょう。ラジオ体操を終え、毎日午前中セミを採つては自分の家の木に放っていました。自由研究で、セミの生態をまとめ、アメリカの13年、17年周期セミについてもこの時に初めて知りました。

それから13年後、東京の大学に進学した私は、盆休みには里帰りをしていました。大学4年の夏は、ちょうど教員採用試験のため帰郷していました。早朝、家で寝ているとあまりのセミの鳴き声のうるささに目を覚ましました。本当に降り注ぐようなセミの声「ミーン、ミーン、ミーン」「ショワショワショワ」「ジージージー」ねていただけませんでした。採用試験のための準備のために帰ってきているのに、たまったものではありません。思わず母に「セミがうるさいよ、どうかして!」と泣きつきました。すると母がびっくりする一言を。「あなたのせいでしょう」。

私が幼いときに放ったセミの子孫が大量に発生していたのです……。

少し苦い思い出ですが、思えばこれが私の自主的な調べ学習の初めだったように思います。そして、私の記憶に刻まれている「夏休みにしかできないこと」でした。皆さんは、どんな夏休みを過ごしたでしょうか。

ここからは、2学期に向けて

「自考」～自分で考えて、行動しよう～

夏休み様々な研修を受けました。その中で、新しい時代が到来するとともに、この新しい時代は、今までとはくらべものがないような大きな変化だということを身に染みて実感しました。ChatGPTに代表されるようなAIの利用やその利用によってなくなる職業があることなど、従来から言われていたことがすさまじいスピードで進んでいるのです。

しかし、安心してください。中宮小学校の先生達はその時代を見据えて、行動しています。2学期からではなく、1年を通して子どもたちと様々な活動を行っています。そしてキーワードになってくるのが「自考」～自分で考える～ということです。そこに自主性が生まれます。

実は私たちの脳は普段からあまり考えていない状態が多いそうです。特に、動画を見ている時間などは、脳はほぼ受動だけになっています。脳が最も活性化するのは、自分で主体的に考えている時なのです。(学習すると甘いものを食べたくなるのは、脳が糖分を欲しているからともいわれています。)

2学期は、9月の授業参観に始まり、運動会、修学旅行、様々な行事が行われます。どれだけ主体的に参加できるか、そして日常を大切にしていけるか、を常に考えながら過ごしていきましょう。

